

Q2-4 その他に、子どもを産み育てようと思うために必要だと思うものがあればご記入ください。

内容	回答してくれた人	年代	子どもの人数	子どもの年齢	就労状況
収入に関係なく手当を平等にする。 子どもが多い世帯は減税する（未来の納税者を多く育てているので子どもの人数が増える毎に減税して欲しい）	ママ	20代以下	1人	0～2歳	育休中
・0-2歳児の保育料無償化 時短勤務や子供の病気等で思ったように働けない時期に大きな出費となるので第二子以降を考える上で負担に感じます。	ママ	30代	2人	0～2歳	育休中
子の看護休暇の充実など	ママ	30代	2人	0～2歳 3～5歳	働いている （パート・アルバイト）
減税だと思います。	ママ	30代	1人	3～5歳	専業主婦 （夫）
男性の育休取得が当たり前になること。男性、また子育てをしない人にも、子育てに必要な事や困り事が何なのか理解してもらえる情報共有。	ママ	30代	2人	妊娠中	働いている（フルタイム）
浜松市はもっと周りの市と合わせた方がいい。 中野市長もっと頑張って！ 大阪府見習ってください！ 吉村さんみたいにお願いします！	ママ	30代	3人	妊娠中 小学生	働いている （パート・アルバイト）
子育てすることの喜び 尊さに誇りをもてること お母さんとしての喜びを感じること お母さん同士のつながり これらは欠かせないと感じます。 県外で過ごしたときそんなことを実感できるコミュニティがありお母さんであることに誇りを持ち子育ての尊さを学んだからです。 大変だけどお母さんや地域のつながりがあればなんとかなる 子どもを産み育てたくなるような 母としての学びがあるからこそ産みたくなります。	ママ	30代	2人	0～2歳 3～5歳	専業主婦 （夫）
どのような子が生まれても、親だけが負担することのないように社会が助けられる制度	ママ	30代	2人	妊娠中 0～2歳	育休中
年収関係なく子供に対して平等に恩恵を受けられるようにしてほしい。	ママ	40代	3人	小学生	働いている（フルタイム）
金銭的ゆとり。 子供1人産まれたら夫の給料2倍、2人目なら3倍。 妻は働かなくてもいい収入。	ママ	40代	1人	3～5歳	働いている （パート・アルバイト）
3歳までの育休と育休中の収入をずっと8割保証にする。 育休中のベビーシッター活用に補助金を支給する	ママ	30代	1人	0～2歳	働いている （自営・フリーランス）

内容	回答してくれた人	年代	子どもの人数	子どもの年齢	就労状況
まわりの協力 保育園利用のための就業時間の要件を減らすこと（広島などは少なくとも利用できるため） 歩いて行ける距離に0歳からでも利用できる遊び場があること 未就園児からも保育園利用料を安くすること 保育士さんの給料をあげること（目を離したら何をするかわからない子どもの命を預かってきているので）	ママ	30代	2人	0～2歳 小学生	専業主婦 (夫)
減税。年少者扶養控除の復活。 現金支給より住民税や所得税が下がる方が嬉しい。	ママ	20代以下	1人	0～2歳	育休中
親子さん自体の知識、責任、認識等のモチベーションの持ち方	祖母	50代以上	2人	3～5歳 小学生	働いている（フルタイム）
少子化を嘆いたり、将来を必要以上に悲観・不安視すると言った煽り記事の規制 ネットやテレビで無責任に不安を煽ったり放言していると感じられる可能性のある報道に対する強い圧力	パパ	40代	2人	0～2歳 小学生	働いている（フルタイム）
妊婦にも優しい社会	ママ	30代	1人	妊娠中	働いている （パート・アルバイト）
妊娠中のトラブル（つわりなど）に対するサポート	ママ	30代	1人	0～2歳	育休中
幼稚園、小学校の設備を清潔に綺麗にしてほしい。古くて不潔。	ママ	30代	2人	3～5歳 小学生	その他
所得制限の撤廃をお願いします。 年少扶養控除が必要です。 明石市のように子育てを応援して欲しいです。	ママ	30代	2人	3～5歳 小学生	働いている （パート・アルバイト）
心と体力のゆとり。子どもと過ごす時間の確保。 キャリアを捨てたくないから働いているが、本当は子どもと過ごす時間が少なくて悲しい。 キャリアを捨てたくない、というのは、自分の働き甲斐とか夢のためとかではなく、ただ、今のキャリアを捨てたらお金に不安があるから。 お金のために働いている。でも、毎日ヘトヘト。 1度正社員を諦めて、ブランクの年数があれば、もとのポジションでの再就職はほとんど無理だと思う。 一度離籍してもその間お金の不安がなく、また正社員で再就職できる、正社員で転職できる、そういう環境であればもっと子どもを産みたいと思う。本当はもっと子供とゆとりをもって過ごす時間が欲しい。それは夫も妻も同じ。	ママ	30代	1人	0～2歳	働いている（フルタイム）
医療費や給食の無償化	パパ	30代	2人	0～2歳 3～5歳	働いている（フルタイム）

内容	回答してくれた人	年代	子どもの人数	子どもの年齢	就労状況
家事育児が母親のものでなくなる	ママ	30代	1人	0～2歳	働いている (パート・アルバイト)
いつでも子供を預けられるような施設があるといい。 子供と一緒に仕事に行ける職場があるといい。	ママ	40代	1人	0～2歳	専業主婦 (夫)
少子化の対策ならば産んだあとの支援よりも、結婚をしやすくしたり、核家族化を減少させていく取り組みが必要。結婚した家庭の出生率はそこまで減少していないため、婚姻数の増加のための対策を行うべき。	パパ	20代以下	2人	0～2歳	育休中
親世代が、まだまだ自分を犠牲にして(とくに女性)子育てしなければという考えを持っている。少し預けただけで育児放棄だ何だのと言われてしまう。また親世代は、(今の世代より)稼げる夫・専業主婦の組み合わせが多く、夫が働いているのだから専業主婦ならワンオペして当たり前、という考えを持っている。親世代と収入や時代背景も違うので、職場も含めて上の世代の意識改革をして協力を得ないと、子供2人目以降は難しいように思う。	ママ	30代	1人	0～2歳	専業主婦 (夫)
働きながらも子育てを十分にできる環境を整えること。(保育施設の拡充や、保育料の見直し、社会の勤務体制など)	ママ	20代以下	1人	0～2歳	育休中
明石市のような政策をマネすればいい。 財源がないは嘘。削れるところはあります。 政治家の方は仕事をしてください。明石市に出来て浜松市に出来ないわけがない。スズキなど巨大な組織票が絡んできると思いますが子育てしにくい街になると人口の流出は止められませんよ。	パパ	20代以下	2人	妊娠中 0～2歳	働いている (フルタイム)
大学進学希望があれば行かせてあげるところまでが親の義務とと思っているので、難しいとは思いますが大学無償化もしくは補助が大幅にあれば子供を増やしても良いと思う。子供の将来のために必要な額面と生涯賃金のバランス考えると、やはり2人までが限界。	ママ	40代	2人	中学生	働いている (パート・アルバイト)
物価高も重なり、現在の可所得分だけでは産みたいと思っても経済的な不安からもう一人を躊躇わざるを得ません。どれだけ家庭でもう一人欲しいと思ってもです。従って、少子化の打開策は真面目な家庭が産めば産むほど得をするしくみをつくることかと思います。一番良いのは、子供の扶養控除を拡大することだと思います。産まれたその年から税金が控除され、一人目は50万円の控除、二人目だと一人目と合わせて150万円の控除といったように。産めば産むほどというのがポイントです。 要するに、児童手当など配らなくてもいいからきちんと真面目に仕事している子育て世代から税金を取ることをやめていただきたいです。そうすれば児童手当を配る費用もかかりません。 そのようにしていただければ産もうと決意できるかもしれません。	ママ	30代	0人	3～5歳	働いている (パート・アルバイト)

内容	回答してくれた人	年代	子どもの人数	子どもの年齢	就労状況
子育てにはお金が何かと要りようです。仕事を休むあるいは辞める等、収入も不安が出てきます 普通の生活を送るにもお金が足りない状況で、子供を持つことはかなり抵抗があると思います	パパ	40代	1人	0～2歳	働いている（フルタイム）
安定した生活と環境	ママ	40代	3人	妊娠中 中学生 高校生	専業主婦（夫）
子どもがいることに対するポジティブなビジョン。 個人レベルと社会全体レベルの両方が必要。 もし今既にあるなら、もっともっと目立つようにする。ネガティブな情報ばかり目立って尻込みする。	ママ	40代	1人	0～2歳	働いている（フルタイム）
・子育て支援ひろばの時間帯が短いので伸ばして欲しい。 ・子育てを母親が主にやるのではなく、もっとベビーシッターや子育てを応援してくれる方の支援が手軽に使えると助かる。 ・金銭面でも余裕がないと子どもを産めない。	ママ	30代	1人	0～2歳	専業主婦（夫）
上記の項目は基本的に全て必要なことではあると思います。 シングルでも安心して子育てができる支援が必要であること。 まずは結婚する人が増えること。 子供のいない人に文句を言われても子育てはお金がかかるので支給も大事だけれど減税も必要。 所得制限はしない。 自営業でも男性が育休的なもの取得できたりそれに類するものが利用できるよになるとよい。 シッター利用に手当があるとありがたい（休日でも夫が仕事でワンオペになることが多い） 親にも休みを（例、産後ケアの充実、保育施設やシッター利用に補助など）	ママ	30代	2人	0～2歳 3～5歳	働いている（自営・フリーランス）
・父親の育児休暇取得率を大幅にあげること ・母親の育児休暇中の手当を1年間100%にすること	ママ	30代	2人	0～2歳 3～5歳	育休中
子育てで仕事を休止する人などに対して、快く送り出せる社会が必要だと思う。 今現在雇っている社員でギリギリ回せる状態から、余剰を作らないと難しいのだとおもう。そのために国は企業に支援すべきだし、企業は働き続けてくれる人に対して補填があればよいと思う。	ママ	30代	1人	0～2歳	専業主婦（夫）
虐待による負の連鎖の解消。物理的な虐待だけでなく、精神的な苦痛による虐待を解消しなければ、心の成長は無く、精神疾患や虐待による負の連鎖は増えるばかりだと思います。	ママ	30代	2人	妊娠中 3～5歳	働いている（フルタイム）

内容	回答してくれた人	年代	子どもの人数	子どもの年齢	就労状況
多様性を認める社会は素敵ですが、結果、結婚・子育ては単なる選択肢の1つとなり、それが当たり前の時代が終わったのだと思います。	ママ	30代	1人	0～2歳	働いている（フルタイム）
基本にお金の不安が多いはずなのにどれだけお金がかかるか明示されていない。 出産一時金としてもらえるお金がまるまるボーナスとしてもらえると思っている人が多々いるが、実際はすべて出産費用として病院に消える上に+10万円ほどかかる。妊婦健診も補助が出た上で支払いがほぼ毎回5千円?1万円前後と必要だった。 お金に対するの漠然とした不安が解消されないと産みたいと思っても産めないし、お金が無限に出てくるなら何人でも産みたいくらい子供は可愛い。	ママ	30代	1人	0～2歳	育休中
ワンオペ育児をなくす	ママ	40代	1人	0～2歳	専業主婦（夫）
親自身に責任、子育ての考え方、認識を変えてもらう事。 今の状況にあった物に	祖母	50代以上	2人	3～5歳 小学生	働いている（フルタイム）
差別のない社会	ママ	30代	2人	3～5歳 小学生	働いている（自営・フリーランス）
パートナー以外の、子育ての手助けをしてくれる頼れる存在。シングル家庭で育つと頼りにくいのではないと思う。	ママ	20代以下	1人	0～2歳	育休中
・女性が産休・育休をとりやすく、また、復帰しやすい職場であること（男性は育休をとっても、また育休前の仕事に復帰出来るが、女性の場合は、それまでの仕事を一旦全部手放さなくてはならないため、復帰したら、異動の可能性や、もともとやっていた仕事をもうやれない可能性が高いため不公平である） ・保育園の待機児童ゼロ（浜松市の場合でいえば、中区と浜北や天竜区とでは、もともとの人口が違うので、中区の待機児童ゼロを目指してほしい）	ママ	40代	1人	0～2歳	育休中
周囲の協力や理解	パパ	20代以下	1人	0～2歳	育休中
働く場所の不妊治療の理解度をあげる。 休みが取りやすい環境。	ママ	30代	2人	0～2歳 3～5歳	専業主婦（夫）
子どもの人数に合った広さの住宅と、住宅購入代金の助成が更に必要だと思います。子どもにもプライバシーがあると思うので、一人一部屋与えたいと考えたり、子どもの人数が増えれば、より広い住宅で生活したいと考えたりするご家庭は多いと思います（私もです。）。ところが、住宅の購入費用は莫大なものですし（都市部に住みたいとなると更に土地代がはねあがる。）、日々の物価上昇でますますコストは高まっています。	ママ	30代	1人	0～2歳	専業主婦（夫）

内容	回答してくれた人	年代	子どもの人数	子どもの年齢	就労状況
そうだと、希望する子どもの人数よりも少ない人数しか育てられないな…となってしまいます。現在も住宅購入の助成はありますが、それでは足りないです。					
日本の将来の安定性が無いと、産んだとしても不安定な国を支えさせなければならぬ。今の大人が作った現状を子供達に支えさせるのは可哀想。	ママ	20代以下	1人	0～2歳	育休中
静岡市や長泉町は第二子以降保育料が無料だ。年齢に関係なく、第三子以降は保育料が無料になって欲しい。 そして現金でやたら手当を支給しないで欲しい。手当を支給するより、児童手当をなくし、無償で保育や教育を適切に受けられるようにして欲しい。	ママ	30代	4人	0～2歳 3～5歳 小学生	働いている（フルタイム）
周りの人のサポート（無償、又は低料金） 時代にあった制度やサポートの充実	ママ	30代	2人	3～5歳 小学生	働いている（フルタイム）
落ち着いた家庭を築ける人を育て上げていくこと、将来に希望が持てる社会であること、自分も家庭を持ちたいと思える環境。	ママ	40代	4人	3～5歳 小学生	専業主婦（夫）
お金。とにかくお金。医療費や教育費の無償化など、子育てへお金がかからないこと。	パパ	20代以下	1人	0～2歳	働いている（フルタイム）
雇用の安定にもつながるが、安定して預けられる保育園や人手があること。	ママ	20代以下	1人	0～2歳	育休中
使いやすく管理の行き届いた公園	パパ	30代	2人	0～2歳 3～5歳	育休中
子供が小学生になり、小学生の生活環境の過酷さを感じました。学校では先生自体がやることに追われて、子供を細かく見ていないと思われ、小さな変化に敏感な我が子は一言一言で行く気を失っています。サポートに入る先生は有資格の先生でなくてもいいと思います。 事務方の先生を増やして、大人の目を増やし、見守られているという気持ちを増やして欲しいと思います。 子供の育つ環境が、先生任せではなく、社会全体で雇用している会社も含めて見守れる社会になるといいと思っています。	ママ	40代	2人	3～5歳 小学生	働いている（パート・アルバイト）
不妊治療への支援 友人でも子供は欲しくても不妊治療がお金がかかりすぎるため産むのが難しい人もいる お金がなくても大学まで入れてあげられるようなお金の余裕 親たちの時間の余裕 ストレスのない子育て	ママ	30代	0人	0～2歳	育休中

内容	回答してくれた人	年代	子どもの人数	子どもの年齢	就労状況
高齢出産しても、所得制限があれば、給付金も満額の児童手当も貰えません。まだ、浜松市からコロナ給付金を頂いてません。こどもを持つ親の分断をしないでください。多子加算もありません。	ママ	40代	3人	0～2歳	働いている（フルタイム）
子育て世帯だけではなく大人たちの安心や安全がなければすぐに枯渇してしまいます。今子育てをされていて、街全体の活気や治安が悪くなっているように感じます。子を育てる関係なく大人たちの余裕を生む事が次世代にとって意味があると思います。とくに教育現場での余裕は1番必要だと思います。労働対価や先生たちを守る環境やいじめの問題など前向きに議論されていくべきであり今までずっと言われているのに変わらないことがおかしいと思っています。お金だけではダメです。教育も大切だと思っています。	ママ	30代	1人	0～2歳	働いている（自営・フリーランス）
若者世代の負担を減らす	ママ	30代	1人	0～2歳	働いている（フルタイム）
働きたいと思う人への援助は良いと思いますが、子育てに専念したいと思う人への援助もあると良いと思います。専業主婦への援助が足りないと思います。	ママ	30代	1人	0～2歳	働いている（パート・アルバイト）
母親にやさしい、守られる社会。	ママ	40代	3人	0～2歳 小学生	働いている（フルタイム）
人手！2人目、3人目を検討するには夫や家族の育児参加が必要になるが、激務や核家族化でワンオペの家庭も多い。そんな中では複数の子をもつことは難しい。	ママ	30代	3人	妊娠中 0～2歳 3～5歳	働いている（パート・アルバイト）
子供を作ろうとする上で産後だけでなく妊娠中の企業のケアや、妊娠中の医療のサポートは必要だと思います。さらには、子供が出来た際は、子供だけではなく祖父母のケアも視野に入れて生活のやりくりをしなければならない人は多いと思います。子供を作ろうとする際に企業が頼れない姿勢では作る気も無くなると思います。	パパ	30代	1人	0～2歳	働いている（フルタイム）
子育てにはお金も時間も必要。働きながらも産休、育休、時短勤務などを最大限取得する事ができる企業の制度や風土が不可欠。働き手の不足を子育て世代を働かせることで賄おうとしないでほしい。それが少子化→働き手不足の無限ループをうみだしている。	ママ	30代	2人	0～2歳 3～5歳	働いている（フルタイム）
子供がいる人生が楽しそうに見える雰囲気。本当はお金があっても産まない、結婚しない方を選択する人も多いのではないかと。子供に使う分自分に使える金額が減ることを許容できないだけで。理屈だけでなく人生の価値観というか感情も大事なのではないかと。	ママ	40代	1人	0～2歳	働いている（自営・フリーランス）
全ての人の精神的余裕	その他	50代以上	2人	高校生	働いている（パート・アルバイト）

内容	回答してくれた人	年代	子どもの人数	子どもの年齢	就労状況
時代にあった子育て環境をつくる。 例えば保護者に負担をさせる PTA を無くす。税金を増やすためにも、仕事との両立ができるような環境を。 母親に偏る子育て環境見直し。 無駄な医療費の見直し→PEG や透析、ペースメーカーなど 浮いたお金を子供達の支援へ	ママ	30 代	1 人	小学生	働いている (フルタイム)
保育園や幼稚園、学校や医療機関など子供に関する施設を拡充する、またその為にはそこで働く人達が求める環境作りをすることでそういった施設で働く人も増えて子供を産み育てる人達も子育てがしやすい環境になると思う。	ママ	30 代	1 人	0~2 歳	育休中
高校、大学の無償化	ママ	20 代以下	1 人	妊娠中	働いている (フルタイム)
結婚する年齢が上がっている事が 1 番の原因かと思うので、若い世代の仕事と収入の安定が大切だと思います	ママ	20 代以下	1 人	0~2 歳	働いている (フルタイム)
子供が欲しくても子供が出来ない人が多いので、不妊治療制度のサポートに力を入れるべきだと思う。	ママ	20 代以下	1 人	妊娠中	働いている (フルタイム)
子育て世帯へ生活必需品などの配布を定期的に行う (米やオムツなどの日用品) 地域によってはオムツを定期的に何度も無料配布している所もあるので、出生率が高い地域がやってる事を広めるのが良いと思う。	ママ	30 代	1 人	0~2 歳	働いている (フルタイム)
子どもと親への継続的なフォロー (母親学級や産後訪問だけでなく、その後のイヤイヤ期や就学後も継続して支援が受けられる) おむつやミルク代など子育てに必要な日用品の軽減税率適用	ママ	30 代	1 人	0~2 歳	専業主婦 (夫)
周りのサポート 二人目産みたいけど、実家は頼れず 夫も育休が取れる空気ではなく現実的に難しく 夫婦二人だけで乗り越えられるには限度がある	ママ	30 代	1 人	0~2 歳	働いている (自営・フリーランス)
不妊治療の無償化や制度の改善。 子供が欲しいかつ、育てる経済力や能力があるにも関わらず、子宝に恵まれなくて悩んでる人はたくさんいます。 そもそも欲しいと思っていない人の意識を変えるよりも欲しい人への支援を手厚くすべき。	ママ	30 代	1 人	0~2 歳	育休中
両親だけではキャパオーバーするので、シッターや家事支援への援助がほしい。	ママ	30 代	1 人	妊娠中	働いている (フルタイム)
子どもが欲しいが、お金がかかるため、3 人目を産むと家や車を買えるぐらいのお金をもらいたい。	ママ	20 代以下	1 人	0~2 歳	育休中



内容	回答してくれた人	年代	子どもの人数	子どもの年齢	就労状況
結婚して子供がいる生活に、前向きになれる情報。 (特に育児は大変なイメージが強く、子どもがいる周りの人を見ても忙しそうで、子どもを持つのが大変そう、と思ってしまったため)	ママ	40代	1人	0～2歳	育休中
子供を3人以上産み育てる人に対して所得税の軽減を行えばいいと思う。欧州のN分N乗を浜松で試みに導入してみてもどうか。まずは所得の多い人から率先して3人以上子供を育てやすくなるのでは。即効性があるかもしれません。所得の低い人でもトータルで今より節税になるのならば検討する人は増えると思います。子供が増えれば経済は活発になるので、減収よりも市としての収益が増える可能性があると思います。	ママ	30代	3人	3～5歳 小学生	働いている(フルタイム)
高校生～大学生くらいの間に、生殖や妊娠・出産(ヘルスクエアや不妊治療も含む)について、また出産や子育てにかかるお金や支援策について学べる機会を設ける。それにより、子育てへの理解を深めたり、ライフプランを立てやすくする。 特に20代の女性が、妊娠・出産後に職場復帰や再就職しやすい雰囲気を作っていく。	ママ	30代	1人	0～2歳	育休中
子育てを支援する側の充実、産後ケアを利用しやすくするのは良い事だが受け入れる側に余裕がない。産後ケアに特化した助産師がほしい。	その他	50代以上	2人		働いている(フルタイム)
会社の時短制度で幼児と乳児を育ててますが、時短制度が幼児期だけなので、フルタイムで学童の送り迎えが間に合わず、退職も検討しています。 大体は時短は3時までだと思いますが、小学生までは時短制度が使えると親としては助かります。 まだ、子育てに関わる人数が昔より少数で一人に負担がかかりやすくなっているので、周囲や市のサポートをもっと受けられるようになれば、一人で塞ぎ込まず、ネグレクトや虐待は減るのかなとも思います。 あとは一人あたりにかかる子育ての負担が少なくなったら嬉しいです。 (正社員で働かなくてもやっていけるならそうしたい)	ママ	30代	2人	0～2歳 3～5歳	働いている(フルタイム)
とにかくお金が必要  現物でも手当でもなく、減税してくれればもう1人産み育てられると思います。	ママ	30代	2人	0～2歳	専業主婦(夫)

内容	回答してくれた人	年代	子どもの人数	子どもの年齢	就労状況
質の高い保育。 誰でも取れる育休、産休。 妊娠出産からの再就職しやすい世の中。 出産費用、こどもの医療費の無償化。 0-2歳の保育料無償と誰でも保育可能。 給与が上がる、産み育てるほど税金の控除がある	ママ	30代	1人	0~2歳	専業主婦 (夫)
学童保育の充実化。小学生になってからの方が、子供を預ける場所に困ってしまう。特に長期休暇など。民間の学童保育を増やしてほしい。	ママ	30代	1人	妊娠中 3~5歳	働いている（フルタイム）
0~1歳児の育児支援。親のつながり作り。寝たい！	パパ	40代	1人	小学生	働いている（フルタイム）
老後の安心。 ベーシックインカム導入。 保育園に入れるために労働証明が先に必要になるあの負担が大きい仕組み(これは本当にどうにかしないと、これから多くの親の親が高齢になり預ける不安が出て困る)。	ママ	30代	1人	0~2歳	専業主婦 (夫)
所得制限の撤廃、親の収入に左右されず子供は平等であるべき	ママ	30代	2人	妊娠中	働いている (パート・アルバイト)
天候に関係なく児童が安全に遊べる施設。	ママ	30代	2人	3~5歳 小学生	働いている (パート・アルバイト)
子どもが隣にいたことが当たり前の社会の構造。	その他	50代以上	0人		働いている（フルタイム）
少子化以前に少婚化の対策が必要	その他	50代以上	0人		その他
子どもを産み育てる前に、まずは自分が安心して生活できる土壌が必要。それがなければ、結婚や出産をしようという気持ちになれない。今の日本の現状を考えると不安ばかり。そーいったことも気にしない鈍感力が子育てには大事かも。	ママ	40代	1人	小学生	働いている（フルタイム）
一時的な現金給付ではなく子供が成人するまでの金銭的サポート、周りの協力、育児のサービスなどが必要だと思います。	ママ	20代以下	2人	妊娠中 0~2歳	働いている（フルタイム）

内容	回答してくれた人	年代	子どもの人数	子どもの年齢	就労状況
<p>子どもを産み育てても、キャリアを積み上げられる社会であることが必要だと思う。</p> <p>高齢出産になる前に、進学、就職、結婚、出産をこなそうと思うと、息継ぎの出来ないようなスピードで人生設計をしていかなくてはならない。</p> <p>子どもがいることが足かせになるのではなく、一つのスキルを持つ人として評価しキャリアアップに繋がられるようにしてほしい。</p> <p>祖父母が定年後も働くようになったことで、孫の世話をできなくなる。育児世帯は孤立化しているように感じる。</p> <p>地域全体で子どもを育てていくようなネットワークづくりが必要だと感じる。</p>	ママ	30代	2人	0～2歳 3～5歳	働いている (自営・フリーランス)
<p>子育ては大変なこともあるけれど楽しいこともたくさんあるよと伝えていくこと。</p>	ママ	50代以上	4人	高校生	働いている (パート・アルバイト)
<p>1番お金がかかる高等教育(大学等)を、子らが親の収入に関係なく受けられる環境。誰にでも学ぶチャンスが平等にあれば、親や子らが何かをあきらめることなく進路を選べる希望が持て、かつ得た知識、技術、知恵を将来的に社会に還元でき、好循環が生まれる。子の通う高校で聞いた話だと、私立大学の自宅生や、国公立大学の下宿生では、文系でそれぞれ約750万、850万必要とのこと。複数の子を持つ親になれば必要な教育費が莫大で、経済的に余裕がある家庭でなければ子は諦めるか1人まで、になる。</p>	ママ	50代以上	2人	高校生	働いている(フルタイム)
<p>子供をこれから作ろうとしている人や既に居る人の常識教育。</p> <p>「少子化の中子供を作った私は偉いんだから敬え」「子供居ない人は居る人を全面支援すべき。しないなら倍の税金を払え」という考えの人が少なからず居るのは、大人の教育がまず行き届いていないせい。</p> <p>学校では何故か性教育についてはさらっとしか触れないけど、もっと子供を持った後のことや子持ちとして相応しい振る舞い等も教えて行き、持つ人持たない人それぞれの考え方や社会の在り方について理解度を深めた方がいい。</p> <p>現在は少子化のせいでピリピリしているのか子持ちと子無しで対立している状況が少なからずあり、作れば派閥が変わってしまい立場が悪くなる可能性や、仕事や収入の面もあり子供を作ることに前向きになれずにいる。</p>	その他	20代以下	0人		働いている(フルタイム)
<p>結婚したいと思える余裕</p>	ママ	30代	1人		専業主婦(夫)
<p>子供に対する優しい社会・地域</p>	ママ	30代	3人	3～5歳 小学生	働いている(フルタイム)

内容	回答してくれた人	年代	子どもの人数	子どもの年齢	就労状況
代理出産 精子提供 卵子凍結 不妊治療の無償化 出産費の無償化	ママ	30代	1人	妊娠中	専業主婦 (夫)
金銭面とメンタル面のケア お金があれば選択肢も増え、メンタルのケアもできるがお金がなければメンタルのケアもできない。 で仕事するには預けないといけないが就活中だと保育園には入れないと役所で言われることの改善。 また、働いても税金でたくさん取られる現代の改善。 塾や習い事が当たり前の授業スピードの改善	ママ	30代	1人	3～5歳	働いている (パート・アルバイト)
我が家に関してのみ回答すると第1子が遺伝子の病気を持つため、もう1人産みたいと思っても25パーセントの確率で同じ病気の可能性があります。その場合の医療費といくら育休が取得できても親のキャリアの分断、親の病院の付き添いの負担と減ったお給料分をどうするか、第1子が通う療育の預かり時間の短さ。こういった問題が解消されない限りもう1人は厳しいです。	ママ	30代	2人	0～2歳 3～5歳	働いている(フルタイム)
幼保から大学までの教職員の大幅な改善待遇、教育施設の改修、減税	ママ	30代	1人	小学生	専業主婦 (夫)
結婚の低年齢化	その他	40代	0人		働いている(フルタイム)
女性の社会進出をやめること	パパ	20代以下	2人	妊娠中 0～2歳	働いている(フルタイム)
自分たちの稼いだお金や年金で生活できる環境が必要です。 その不安がなければ貯金の額も減らし、子供を産みたいと思っています。 お金と時間が必要だと感じています。	ママ	30代	1人	3～5歳	働いている(フルタイム)
消費税の減税、議員数を減らす、議員の給料削減	ママ	30代	1人	妊娠中	働いている(フルタイム)
保育園にいつでも入れる体制や、毎月おむつの支給があるといい。	ママ	20代以下	2人	0～2歳 小学生	専業主婦 (夫)
将来の納税者を産むことになるので、子供一人にかかる費用を国で保障してほしい。 子育てに必要なベビー服やおむつ、哺乳瓶やミルクなど消耗品から教育費まで全て割高でお金がかかりすぎる。	ママ	30代	2人	0～2歳 小学生	働いている(フルタイム)
・中学ぐらいまでの子育て世代に対する、職場のフォロー体制 ・家事育児に専念できるように、職場が積極的に業務調整する	その他	30代	0人		働いている(フルタイム)

内容	回答してくれた人	年代	子どもの人数	子どもの年齢	就労状況
子どもがいる家庭といない家庭との仕事に対する温度差がなくなるとよい。仕事のしわ寄せが子どもがいない家庭の人に行っている気がしてならないし、子どもがいる人のキャリアアップが難しくなるのはおかしい。	ママ	40代	2人	3~5歳 小学生	働いている (パート・アルバイト)
母子家庭です。仕事をかなり頑張っているため、基準？をオーバーしてしまい、母子医療や、児童扶養手当などが支給されていません。給食費の援助などもなくなりました。私は持病があり毎月数回総合病院に通院しています。この線引きをなくして欲しいのです。 子どもが成人になるまでには本当にたくさんのお金がかかります。いつもいつも〇〇の費用が払えるか、を心配しています。それに疲れてしまいました。 コロナで子供たちへの支援があった時も、基準オーバーでもらえませんでした。フルタイムで子供との時間や体力削って働いている母親には支給がないのに、非課税世帯で四人子供がいたら(基準も高い)該当で20万円支給(しかも一度ではない)って悲しすぎるなと思いました。 必要なのは、お金のことで心配しなくても子供を産み育てられる環境です。児童手当が少し増えたくらいでは、もはやそれは難しいです。支援の基準や方法を浜松市は特に見直してください。	ママ	40代	1人	中学生	働いている(フルタイム)
婚姻制度の自由性 社会のすべての人が分担し、次の世代を育てていく意識	ママ	30代	1人	小学生	働いている (自営・フリーランス)
情報が少なすぎるので産める病院だったり費用、小児科も任意の予防接種の費用など分かりやすく一覧で見られると良い。 今後子育てする中でかかる費用も情報が少なく不安が多い。	ママ	30代	3人	0~2歳 小学生	働いている (パート・アルバイト)
20代でなるべく結婚できるようにする。	その他	20代以下	0人	0~2歳	働いている (パート・アルバイト)
年少扶養控除の復活と、全ての所得制限の撤廃	ママ	30代	2人	0~2歳 3~5歳	専業主婦 (夫)
3人子供がほしいが、ママがフルタイム(時短勤務)で働きながら、子育て、してる人が周りにいない。仕事と子育てのバランスも大事だがお金の心配があるので3人目は厳しい。一昔前はパパの一馬力でママは専業主婦の家庭が多く、子供3人も珍しくなかったのに。パパ育児とかももちろんいいけど、給与が昔に比べて減ったのが大きいと思う。 いっそのこと3人目1000万円とかやったらいいと思う。 人口も減少してるし	ママ	30代	1人	0~2歳	育休中

内容	回答してくれた人	年代	子どもの人数	子どもの年齢	就労状況
<p>子どもを産める女性は日に日に減少しています。閉経はいつくるか分かりません。また、元気な身体で将来的に考えてダウン症などの障害の可能性の低さも考えると35歳が目安かなと思います。子どもを産み育てるとなると、女性の仕事の犠牲は避けられません。金銭的に余裕があれば働かなくとも良いでしょうが、税収が50%近く働けど働けど収入がそれほど増えません。共働きしながら家事育児を女性が担っていたら、女性はもっと子どもを産みたいという気持ちより、これ以上自分の負担を増やしたくないという思考になります、当たり前ですが。</p> <p>金銭的に余裕が出来るには、税金がもっと安くなればそれだけ収入が皆平等に増えます。夫の稼ぎのみで暮らせられたら、女性は働かずに育児に専念出来たり、少し働きに出る程度で済みます。</p> <p>今の世の中は何もかも女性に背負わせすぎです。その上に子ども沢山産めなんて、無理があります。</p> <p>税金を下げる。年少扶養控除を復活させる。所得制限を無くす。そのうえで児童手当を1人目が18歳以上になったら1人目と数えない、などのような不適切な支援ではなく、キチンと1人目とずっと扱い支援する。</p> <p>変な誤魔化しばかりの政策ばかりしているから産む人が減り続けるんです。もう産める女性は少なくなり、1人産んだところで回復しません。2・3・4人と産みたい、産めそうだと思う政治をしてほしい。</p>	ママ	30代	2人	3～5歳 小学生	働いている（フルタイム）
<p>浜松市高校3年生（18歳）まで医療費500円を無料に！！！！</p> <p>10年以上前から医療費無料の市町村が多くある中育児に手薄さを感じる</p>	ママ	20代以下	1人	0～2歳	働いている（フルタイム）
<p>幸せ・やりがい・楽しいなどの感情論を一切抜きにした、子供を産む、育てることの経済的なメリットの公開。</p> <p>実際の親の声を見える化された媒体。</p>	パパ	30代	1人	0～2歳	働いている（フルタイム）
<p>経済の安定、出産後のケアも当然ですが 少子化対策というなら不妊治療に対する経済的負担の軽減や周囲の理解に対する働きかけも同時に行なっていただきたいです。</p> <p>子どもを産んで育てたいと思っている夫婦が不妊治療を経済的事情で諦めるということがないようになればと思います。</p>	ママ	30代	1人	0～2歳	育休中
<p>育てやすい環境。保育園の入りやすさ。公園での制限が多すぎる。</p> <p>育休給付金は保育園に落ちた落ちないに関わらず3年給付</p>	ママ	20代以下	1人	0～2歳	育休中

内容	回答してくれた人	年代	子どもの人数	子どもの年齢	就労状況
税金や社保等で無駄にお金を取られないこと。 保育園に入れないかもしれない、入れないと職を失う、収入が無くなるという不安を無くして欲しい。 (育児手当は期限付き・給与より額も少ないので子どもを産み育てるのにそれだけを当てには出来ない)	ママ	30代	2人	0～2歳 3～5歳	育休中
育休を取得できない(無職状態、自営業)親のサポート。 希望者全員が保育園に入れる環境整備。	パパ	30代	1人	0～2歳	専業主婦 (夫)
子どもを育てる世帯は所得税などの親にかかる税金の減税や、子ども用品の消費税の減税でお金にゆとりを作って欲しいです。また子どもを育てる家を立てるのも補助金をもっとふやしてほしいです。物価高で低所得、増税で子どもを育てると言うより、自分が生きていくとさざりギリギリになりそうです。お金にゆとりがあり、子育て世代に優しい環境にしてくれたら子ども増やしても良いなと思います。	ママ	30代	1人	0～2歳	専業主婦 (夫)
心と体が辛いときに、気軽に子供を預かってくれる場所があるといい。現状、泣きたいくらい辛いという人や月に1.2回ほどしか一時保育を利用できないと何人か聞いたことがある。	ママ	30代	2人	0～2歳 3～5歳	育休中
子どもを産むまでもにさまざまなリスクや母体の体調不良があり、尚且つ検診や出産もお金がかかるし、産後仕事復帰しても、なかなか仕事を思うようには行えないし、時短であると手当が減る。もっと世間には妊娠出産子育ては大変だということを知ってもらいたい。出産後も、母親は必死に子育てしているのに、少し目を離れた時に予想できない動きを子どもはするので、起こってしまった事故にたいして、母親を責めないで欲しい。1番反省してるし、対策も考えているのに、連れて行った病院で白い目でみられたり、怒られたりするのとはとても辛い。そういうことがあると、さらに子どもを産み育てたいと思わない。	ママ	20代以下	1人	0～2歳	働いている (フルタイム)
明るい日本の未来	ママ	30代	2人	0～2歳 3～5歳	育休中
大学費用の無償化	ママ	30代	1人	0～2歳	働いている (パート・アルバイト)
男女ともに働きやすい環境が必要だと思う。残業が多く私生活が乱れていたら出会いの機会が減るし、出産や子育てで周囲に迷惑がかかるような現場では子育て世代に対して悪い印象を持って自分も子どもを育てたいと思えない。全世代が大切にされて、ライフワークバランスがとれる社会の仕組みが必要だと思う。	ママ	30代	3人	妊娠中 0～2歳 3～5歳	働いている (フルタイム)
育休を気軽に取れる会社の増加	ママ	30代	1人	0～2歳	働いている (パート・アルバイト)

内容	回答してくれた人	年代	子どもの人数	子どもの年齢	就労状況
収入が増えあらゆる物価が下がること。	ママ	30代	1人	0～2歳	専業主婦(夫)
一時預かりなど母親が休める場所づくり。父親の会社などでの父親学級や変革	ママ	20代以下	1人	0～2歳	育休中
明石市を見本にしてほしい	ママ	40代	1人	小学生	働いている(フルタイム)
配偶者の残業なし 税金の負担軽減 こども・妊婦にやさしい社会 0.1.2歳児は保育園に預けず会社にも復帰せずに生活が出来る、働いているときと収入が変わらない育休制度(保育園に預けたい人ももちろんいるが、収入が必要で仕事をするために泣く泣く我が子を預けなければいけない人が大半だと思われる) 1歳児クラスや2歳児クラスでもわりと簡単に入園できる制度や環境作り(0歳児クラスは入園のハードルが低いが、1・2歳児クラスは入園が難しい園が多い) 子の看護休暇の有給対応(保育園に入っているとどうしても体調不良になることが多い。有給休暇では間に合わず、欠勤でお給料が引かれてしまうので)	ママ	30代	1人	0～2歳	働いている(フルタイム)